

第104期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

証券コード：5142

Dear FUTURE

トップメッセージ Top Message

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などがあり、欧州を中心に減速傾向となりました。また、中国も個人消費の低迷と不動産市場の悪化により減速が続きました。日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し回復が見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や為替レートの大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、価格改定を含め、売上高38,182百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。営業損益は、原材料価格・エネルギーコストの上昇や円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めましたが、519百万円の営業損失（前年同四半期は102百万円の営業損失）となりました。経常損益は、営業外収益に為替差益等の計上がありましたが、45百万円の経常損失（前年同四半期は489百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益の計上がありましたが、前年同四半期に比べ12百万円減少し、154百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

今後は、ウィズコロナの下で社会経済活動の正常化は一段と進み、個人消費も回復に向かうものと考えられます。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴い、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや世界的なインフレの継続、金融市場の混乱などにより世界経済の減速が懸念されます。

中長期的には、国内では少子高齢化の進行に伴い、人口減少と年齢構成の変化による生産活動や消費行動の一層の多様化が予測され、世界的には、新興国の生産・消費が回復・拡大すると予想されます。その一方で、SDGs（持続可能な開発目標）の重要性がさらに増し、脱炭素社会に向けた企業の変革が求められており、加えてAI、ICT技術の飛躍的な発達は新たな事業を創出・拡大する反面、既存事業の構造や働き方の改革が求められています。

また、大きな自然災害や感染症の拡大により、多数の尊い人命が奪われ、経済活動にも大きな影響を与えましたが、このような不確実性の高い社会に対応する柔軟で強靱な体質を作り上げていかなければなりません。

世界・日本における生産や消費の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的・効率的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」で『人と環境にやさしく快適な生活空間を創造する企業』を目指します。当社グループは、持続的成長を遂げ企業価値を高めることを目的としてグループ全員が情熱と論理をもって、国際的に逞しい会社を目指し、より大きな価値を創造する企業集団を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

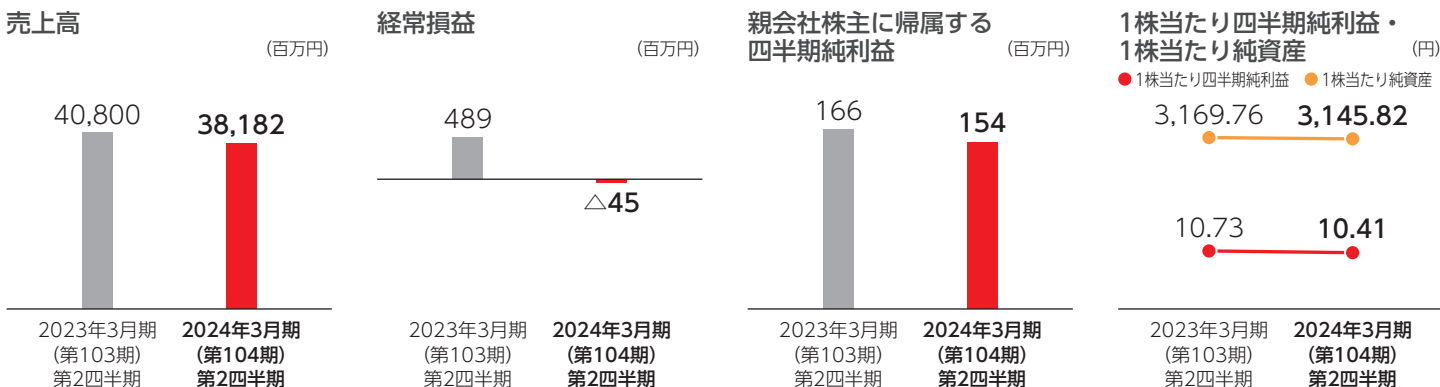


代表取締役社長

日景一郎

2023年12月

連結財務ハイライト Financial Highlights



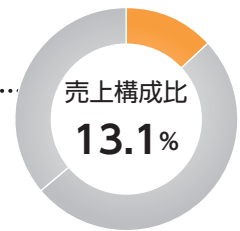
より詳しくは、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.achilles.jp/ir/>





シューズ事業

- 売上高 **4,991**百万円 (前年同四半期比 **6.6%**減)
- セグメント損益 $\triangle 404$ 百万円 (前年同四半期は $\triangle 564$ 百万円)

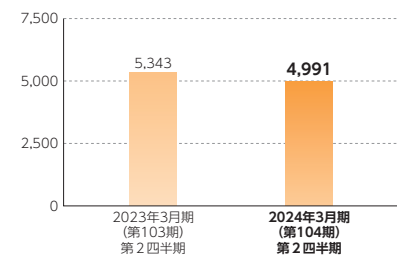


衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」、および世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」は好調に推移し前年売上を上回りましたが、その他の商品群の回復が遅れ全体では前年売上を下回りました。

セグメント損益は、価格改定の効果を含む利益率の改善や、販売費の削減等に取り組みましたが、セグメント損失となりました。

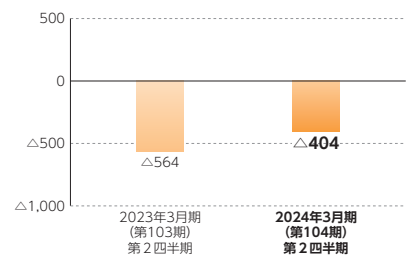
売上高推移

単位：百万円



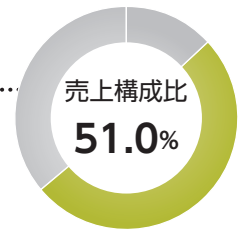
セグメント損益推移

単位：百万円



プラスチック事業

- 売上高 **19,478**百万円 (前年同四半期比 **8.6%**減)
- セグメント損益 **555**百万円 (前年同四半期比 **59.6%**減)



車輦内装用資材は、中国市場は苦戦しましたが、国内および北米市場においては自動車メーカーの生産が回復し、好調に推移しました。フィルムは、国内外の流通在庫調整によりエレクトロニクス分野、医療・医薬分野が大きく低迷したほか、長引く欧州の景気低迷によりエクステリア用フィルムも伸び悩み、低調に推移しました。

建装資材は、市況の低迷が続く中、壁材の新柄投入効果によりほぼ前年並みとなりました。

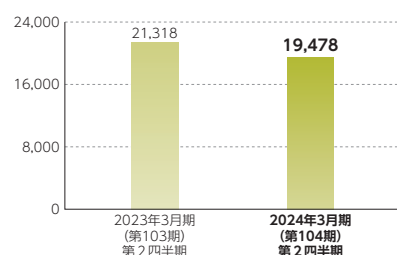
防災対策商品は、米国市場でボートが伸び悩み、低調に推移しました。

プラスチック事業全体では、前年同四半期比で減収となりました。

セグメント損益は、主にフィルムの大幅減収による粗利減の影響等により、前年同四半期比で減益となりました。

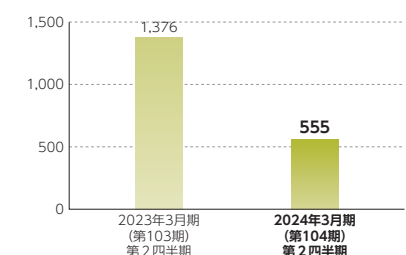
売上高推移

単位：百万円



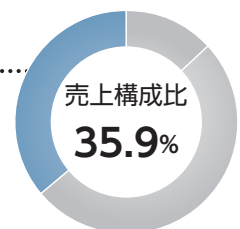
セグメント損益推移

単位：百万円



産業資材事業

- 売上高 **13,713**百万円 (前年同四半期比 **3.0%**減)
- セグメント損益 **634**百万円 (前年同四半期比 **50.9%**増)



ウレタンは、主な用途である車輦用および寝具用ともに回復基調に推移しました。

断熱資材は、戸建住宅向け、建築向けボード製品、スチレン製品が回復しましたが、全体としてはほぼ前年並みに推移しました。

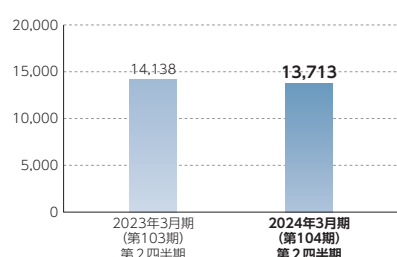
工業資材は、半導体分野向けウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに低調に推移しました。

産業資材事業全体では、前年同四半期比で減収となりました。

セグメント損益は、価格改定の効果を含む利益率の改善等により、前年同四半期比で増益となりました。

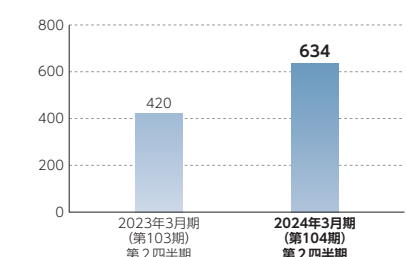
売上高推移

単位：百万円



セグメント損益推移

単位：百万円



瞬足20周年記念イベント「瞬足ドリームフェスタ in 国立競技場」開催

2023年5月5日、国立競技場(東京都新宿区)にて「瞬足ドリームフェスタ in 国立競技場」を開催しました。

「瞬足」ブランド誕生20周年を記念した本イベントでは、東京陸上競技協会協力のもと実施した学年別コーナー走「瞬足チャレンジ」をはじめ、人気お笑いトリオのパンサーが登場した「お笑いトークライブ」、男子走高跳で2019年ドーハ世界選手権に出場した佐藤凌選手、プロ縄跳びプレイヤー森口明利選手といった世界トップレベルの選手が登場した「スポーツチャレンジ」など様々な企画を実施。約1,500名の親子にご来場いただき、触れあいや体験を通じて会場内は大きく盛り上がりました。

今後もブランドタグライン「今日、夢が走り出す。」のもと、子どもたちをワクワクさせる製品の提供とプロモーションを展開してまいります。



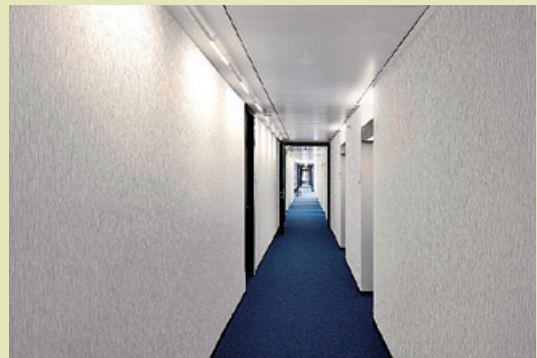
業界初※製造時にCO₂を製品内部に吸収・固定化した壁紙「e-タンクロス」開発

当社は、新製法によりCO₂を製品内部に吸収・固定化したカーボンリサイクル型のビニル壁紙を業界で初めて開発しました。

本製法では、ビニル壁紙の製造において通常用いられる天然炭酸カルシウムに替えて、大気中に排出される排ガス中のCO₂を固定化した合成炭酸カルシウムを配合。この製法により、製品重量の約10%のCO₂を固定化し、さらに当社従来品と変わらない物性や機能を実現しました。

当社は、カーボンニュートラルの実現に向け、環境配慮型技術・製品の開発を推進し、CO₂削減の取り組みを進めてまいります。

※ビニル壁紙製品として内装材業界初(2023年3月末時点、当社調べ)。



「SEMICON China 2023」、 「SEMICON Taiwan 2023」出展

2023年6月29日から7月1日にかけて中国上海市の上海新国際博覧中心にて開催された「SEMICON China 2023」、2023年9月6日から9月8日にかけて台湾台北市の台北南港展覧館にて開催された「SEMICON Taiwan 2023」に出展しました。

昨今のIoT、EVの普及やカーボンニュートラルの実現に向けて、世界中で半導体の重要性が増すなか開催された本展示会。省エネを支えるパワー半導体用の出荷搬送システムをはじめ、当社独自の導電化技術「STポリ」を利用した半導体製造工程用の高機能フィルムや衝撃・振動対策用の衝撃吸収素材「SORBOTHANE(ソルボセイン)」を中心に展示し、各々400名を超える方々にお越しいただきました。

今後も、半導体分野の成長が期待される中国・台湾地域での販売強化に注力してまいります。



「SEMICON China 2023」



「SEMICON Taiwan 2023」

● 会社概要 (2023年9月30日現在)

社名 アキレス株式会社
設立 1947年5月
資本金 14,640,795,671円
従業員数 1,284名
本社 〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
関西支社 〒530-0005
大阪市北区中之島二丁目2番7号
中之島セントラルタワー23階

営業所 北海道営業所/九州営業所
工場 足利第一工場/足利第二工場
滋賀第一工場/滋賀第二工場
美唄工場/九州工場
連結対象子会社 ACHILLES USA,INC.
阿基里斯(上海)国際貿易有限公司
アキレスコアテック株式会社
関東アキレスエアロン株式会社
大阪アキレスエアロン株式会社
その他14社

● 役員 (2023年10月1日現在)

代表取締役社長 日景一郎 (営業部門統轄兼シューズ部門担当)
取締役会長 伊藤一守 (管理部門統轄兼CSR担当)
専務取締役 藤澤浩樹 (製造部門統轄)
常務取締役 横山浩孝 (プラスチック部門担当兼車輻輳材事業部長)
取締役 大河山本勝治 (産業資材部門担当)
取締役 柳河野達和 (営業部門統轄補佐兼海外事業推進担当兼工業資材事業部長)
取締役 佐藤野均 (管理部門統轄補佐兼経理本部長)
取締役 佐藤野均
取締役(常勤監査等委員) 日景一郎
取締役(常勤監査等委員) 伊藤一守
取締役(監査等委員) 藤澤浩樹
取締役(監査等委員) 横山浩孝
取締役(監査等委員) 大河山本勝治
取締役(監査等委員) 柳河野達和
取締役(監査等委員) 佐藤野均
取締役(監査等委員) 佐藤野均
取締役(監査等委員) 佐藤野均
取締役(監査等委員) 佐藤野均

注記 取締役佐藤野均氏、日景一郎氏、須藤昌子氏、有賀美典氏および笠原智恵氏は、社外取締役であります。

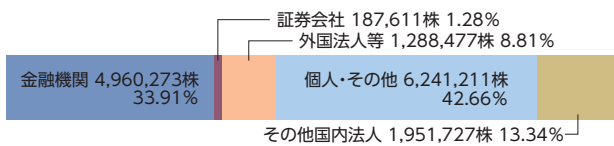
● 執行役員 (2023年10月1日現在)

執行役員 柏瀬功次 (建築事業部長)
執行役員 小林一俊 (安全環境担当兼物流改善担当兼製造管理本部長)
執行役員 松野光弘 (関西支社長)
執行役員 海野実稔 (シューズ事業部長)
執行役員 宮野美樹 (情報システム部長)
執行役員 河原雅明 (研究開発本部長)
執行役員 黒岩登志也 (プラスチック製造本部長)
執行役員 吉田裕隆 (ウレタン事業部長)
執行役員 佐藤裕二 (購買部長)
執行役員 中野浩久 (断熱資材事業部長兼断熱資材販売部長)
執行役員 川島英生 (北米担当兼化成部品事業部長)
執行役員 小市一樹 (製造部門統轄補佐兼生産新担当兼品質保証本部長)
執行役員 石原一樹 (人事総務部長)
執行役員 大村喬二 (コンプライアンス本部長兼法務部長兼コンプライアンス推進部長)
執行役員 大村喬二 (滋賀地区製造担当兼製造管理本部長)
執行役員 大村喬二 (防災事業部長)
執行役員 大村喬二 (産業資材製造本部長兼断熱資材工場長)

● 株式の総数等 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 70,000,000株
発行済株式の総数 15,362,714株
株主数 11,765名

● 株式分布状況 (2023年9月30日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式733千株があります。

● 大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,509	10.32
東京アキレス協和会	825	5.64
株式会社みずほ銀行	663	4.54
足利アキレス協和会	551	3.77
大阪アキレス協和会	542	3.71
朝日生命保険相互会社	431	2.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	352	2.41
株式会社足利銀行	343	2.35
セコム損害保険株式会社	315	2.15
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	273	1.87

注記 上記のほか、当社保有の自己株式733千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日 3月31日
中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会 6月中
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告 (<https://www.achilles.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

